

○ 市民・大学生・高校生・転出者アンケート概要及び結果

1 調査の目的と実施概要

(1) 調査の目的

人口の現状と将来の展望を提示する「米沢市人口ビジョン」の改訂に向けて市民、大学生、高校生、転出者を対象として結婚・出産・子育て、就職、移住に関する意識や、学生や転出者の意識や現状を把握するために実施した。

(2) 実施概要

各アンケートの対象等については以下のとおり。

| 種別 | 市民 | 大学生 | 高校生 | 転出者 |
|------------|---------------------------------|--|------------------|--|
| 対象及び抽出方法 | 18歳以上39歳以下の市民から無作為抽出（同一世帯からは一人） | 市内大学に在学する最終学年の学生全員 （大学4年生、短期大学2年生、大学院修士2年生） | 市内高校に通学する高校3年生全員 | 本市から転出した22歳以上50歳未満の方を基準日から遡って全数抽出（同一世帯からは一人） |
| 調査期間（令和5年） | 7～8月 | 7月 | 7月 | 7～8月 |
| 調査方法 | 郵送配付・回収 Web回答併用 | 大学配付・回収 Web回答併用 | 高校配付・回収 | 郵送配付・回収 Web回答併用 |
| 配付数 | 1,500 | 1,300 | 888 | 1,100 |
| 有効回収数 | 545 | 436 | 816 | 355 |
| 内Web回答 | 224 | 298 | — | 175 |
| 有効回収率 | 36.3% | 33.5% | 91.9% | 32.3% |

(3) アンケート項目

| 項目 | 一般 | 大学生 | 高校生 | 転出者 |
|--------------------|----|-----|-----|-----|
| 人口流出、魅力向上 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 結婚・出産・子育て | ○ | ○ | | |
| 将来の働き方・暮らし方 | | ○ | ○ | |
| 将来のUターン意向・本市との関わり方 | | | | ○ |

1 本市の人口流出原因や魅力向上について

(1) 人口流出の原因

- 本市が抱える人口流出の原因について、市民と大学生は「冬期間の大雪などの厳しい自然環境」と考える割合が最も高く、高校生は「大都市への憧れ」を原因だと考える割合が高い。
- そのほか、「良質な雇用機会の不足」、「娯楽施設の不足」もいずれのアンケートでも高い割合を占めている。

【表 1-1 本市が抱える人口流出の原因は何だと考えるか】 (複数回答：2つまで選択)

| | 市民 (n=545) | 大学生 (n=436) | 高校生 (n=816) |
|---------------------------|------------|-------------|-------------|
| 1. 良質な雇用機会の不足 | 216 39.6% | 146 33.5% | 156 19.1% |
| 2. 起業・創業する環境不足 | 28 5.1% | 29 6.7% | 48 5.9% |
| 3. 良質な教育環境 (高校、大学) の不足 | 39 7.2% | 28 6.4% | 101 12.4% |
| 4. 良質な子育て環境 (保育所、幼稚園) の不足 | 34 6.2% | 11 2.5% | 33 4.0% |
| 5. 交通インフラの整備不足 | 73 13.4% | 122 28.0% | 71 8.7% |
| 6. 医療体制の不足 | 8 1.5% | 7 1.6% | 6 0.7% |
| 7. 冬期間の大雪などの厳しい自然環境 | 287 52.7% | 193 44.3% | 206 25.2% |
| 8. 娯楽施設の不足 | 174 31.9% | 127 29.1% | 349 42.8% |
| 9. 地元・親元からの独立意識 (人間関係) | 37 6.8% | 20 4.6% | 94 11.5% |
| 10. 大都市への憧れ | 117 21.5% | 111 25.5% | 403 49.4% |
| 11. 出会いの場の不足 | 14 2.6% | 19 4.4% | 38 4.7% |
| 12. その他 | 18 3.3% | 9 2.1% | 16 2.0% |
| 無回答 | 13 2.4% | 4 0.9% | 12 1.5% |

(2) 本市で生活し続ける際に不安なこと

- 全てのアンケート区分において、「降雪量の多さ」の割合が最も高く、本市で生活するうえで「雪」に対する不安が大きいことが分かる。
- 「買い物、娯楽施設が少ない」ことも各アンケート区分で生活に不安を感じる割合が高い。
- 大学生においては、「公共交通機関が不便」とする割合も高く、自動車を保有していない学生にとって市内を移動する際の公共交通に不安があることが分かる。

【表 1-2 米沢市で今後も暮らす場合、生活する環境で不安なことは何ですか】

(複数回答：3つまで選択)

| | 市民 (n=545) | 大学生 (n=436) | 高校生 (n=816) | 転出者 (n=355) |
|-----------------------------------|------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 降雪量の多さ | 404 74.1% | 322 73.9% | 416 51.0% | 297 83.7% |
| 2. 就職・転職先の確保 | 200 36.7% | 103 23.6% | 156 19.1% | 114 32.1% |
| 3. 公共交通機関が不便 | 132 24.2% | 257 58.9% | 227 27.8% | 132 37.2% |
| 4. 買い物・娯楽施設が少ない | 237 43.5% | 266 61.0% | 384 47.1% | 171 48.2% |
| 5. 子育て環境や子どもの教育環境 | 117 21.5% | 17 3.9% | 82 10.0% | 37 10.4% |
| 6. 道路交通網が整備されていない | 59 10.8% | 54 12.4% | 54 6.6% | 36 10.1% |
| 7. 最新の情報 (流行、トレンドなど) が入手しにくい | 68 12.5% | 35 8.0% | 141 17.3% | 44 12.4% |
| 8. 事業拡大や起業が難しい | 24 4.4% | 9 2.1% | 37 4.5% | 17 4.8% |
| 9. 住居の確保 | 26 4.8% | 9 2.1% | 30 3.7% | 13 3.7% |
| 10. 人間関係 (友人・知人、相談相手、地域・近所等の付き合い) | 47 8.6% | 33 7.6% | 52 6.4% | 40 11.3% |
| 11. 自然災害 | 25 4.6% | 18 4.1% | 36 4.4% | 23 6.5% |
| 12. 医療・福祉サービス | 45 8.3% | 12 2.8% | 22 2.7% | 22 6.2% |
| 13. その他 | 19 3.5% | 7 1.6% | 13 1.6% | 7 2.0% |
| 14. 特に不安はない | 5 0.9% | 3 0.7% | 49 6.0% | 2 0.6% |
| 無回答 | 5 0.9% | 10 2.3% | 113 13.8% | 3 0.8% |

(3) 本市がもっと住みやすく、魅力的なまちとなるために必要な取組

- より魅力的なまちとなるために必要な取り組みとして、市民、大学生、転出者においては「冬期も安心して暮らせるまちづくり（除雪・雪下ろし）」は最も高く、生活するうえで不安としている「雪」の課題を解決する取り組みが重要だという結果となった。
- 一方、高校生アンケートでは、「働きやすい環境づくり（就職、職場環境、事業所内保育）」の割合が最も高く、他のアンケートでも約5割を占めることから、将来に働きやすい環境があることが本市にとどまる魅力と捉える方が多いことが分かった。
- その他、「子育てしやすい環境づくり」と「産業が活発なまちづくり」が高い割合を占めており、本市が魅力的なまちとなるためには、「雪」の課題解決と「産業」の発展、「子育て環境の充実」、「仕事の創出」が重要という結果となった。

【表 1-3 これからの米沢市が、もっと住みやすく、魅力的なまちとなるために必要な取組は何だと思いますか】（複数回答：上位3位まで選択）

| | 市民(n=545) | 大学生(n=436) | 高校生(n=816) | 転出者(n=355) |
|------------------------------------|-----------|------------|------------|------------|
| 1. 産業（商工業、観光業、農林業）が活発なまちづくり | 190 34.9% | 219 50.2% | 350 42.9% | 166 46.8% |
| 2. 働きやすい環境づくり（就職、職場環境、事業所内保育） | 320 58.7% | 227 52.1% | 399 48.9% | 186 52.4% |
| 3. 子育てしやすい環境づくり | 269 49.4% | 134 30.7% | 283 34.7% | 130 36.6% |
| 4. 教育（小中高大）や学び（生涯学習）の場の充実 | 99 18.2% | 80 18.3% | 170 20.8% | 70 19.7% |
| 5. 芸術、歴史、文化を生かしたまちづくり | 27 5.0% | 57 13.1% | 117 14.3% | 35 9.9% |
| 6. スポーツを通じた活性化 | 11 2.0% | 19 4.4% | 83 10.2% | 13 3.7% |
| 7. 高齢者や障がい者が暮らしやすいまちづくり | 51 9.4% | 19 4.4% | 64 7.8% | 19 5.4% |
| 8. 元気に暮らせる保健・医療の充実 | 77 14.1% | 53 12.2% | 98 12.0% | 37 10.4% |
| 9. コンパクトなまちづくり（公共交通の充実） | 88 16.1% | 165 37.8% | 182 22.3% | 92 25.9% |
| 10. 環境に配慮したまちづくり（保全、リサイクル、脱炭素） | 10 1.8% | 8 1.8% | 39 4.8% | 3 0.8% |
| 11. 防災・防犯による安心・安全なまちづくり | 38 7.0% | 21 4.8% | 75 9.2% | 16 4.5% |
| 12. 冬期も安心して暮らせるまちづくり（除雪・雪下ろし） | 332 60.9% | 232 53.2% | 347 42.5% | 202 56.9% |
| 13. 国際性豊かなまちづくり | 10 1.8% | 10 2.3% | 62 7.6% | 7 2.0% |
| 14. 個性や能力を発揮できるまちづくり（男女共同参画や性の多様性） | 27 5.0% | 18 4.1% | 88 10.8% | 21 5.9% |
| 15. 市民と行政の協働によるまちづくり | 28 5.1% | 9 2.1% | 32 3.9% | 12 3.4% |
| 16. その他 | 22 4.0% | 18 4.1% | 16 2.0% | 15 4.2% |
| 無回答 | 3 0.6% | 0 0.0% | 10 1.2% | 11 3.1% |

(4) 将来の就きたい仕事

- 大学生・高校生ともに「工業・製造業関係」が占める割合が最も高く、続いて「情報・通信・IT関係」が就きたい仕事となっている。
- その他、大学生は「学術関係」を約1割が希望し、高校生では、「医療関係」や「教育関係」、「公務員」をそれぞれ約1割の学生が希望している。

【表1-4 あなたは、将来どのような仕事をしてみたいですか。】

(複数回答：2つまで選択)

| | 大学生 (n=436) | | 高校生 (n=816) | |
|--------------------|-------------|-------|-------------|-------|
| 1. 農林水産業関係 | 7 | 1.6% | 14 | 1.7% |
| 2. 建築・建設関係 | 20 | 4.6% | 50 | 6.1% |
| 3. 工業・製造業関係 | 241 | 55.3% | 124 | 15.2% |
| 4. 金融・保険関係 | 7 | 1.6% | 35 | 4.3% |
| 5. 情報・通信・IT関係 | 104 | 23.9% | 108 | 13.2% |
| 6. 航空船舶・運輸関係 | 4 | 0.9% | 16 | 2.0% |
| 7. 医療関係 | 19 | 4.4% | 107 | 13.1% |
| 8. 福祉・介護関係 | 4 | 0.9% | 35 | 4.3% |
| 9. 教育関係 | 8 | 1.8% | 68 | 8.3% |
| 10. 保育関係 | 2 | 0.5% | 26 | 3.2% |
| 11. 動物・ペット関係 | 0 | 0.0% | 16 | 2.0% |
| 12. 学術関係 | 41 | 9.4% | 26 | 3.2% |
| 13. 芸術関係 | 15 | 3.4% | 36 | 4.4% |
| 14. スポーツ関係 | 8 | 1.8% | 40 | 4.9% |
| 15. 理容・美容・ファッション関係 | 7 | 1.6% | 47 | 5.8% |
| 16. 報道・芸能・広告関係 | 17 | 3.9% | 36 | 4.4% |
| 17. 飲食業・販売業関係 | 16 | 3.7% | 48 | 5.9% |
| 18. 観光・旅行・ホテル関係 | 10 | 2.3% | 33 | 4.0% |
| 19. 公務員 | 31 | 7.1% | 106 | 13.0% |
| 20. 団体職員 | 1 | 0.2% | 3 | 0.4% |
| 21. 専門職系 | 11 | 2.5% | 12 | 1.5% |
| 22. 起業家・個人事業主 | 10 | 2.3% | 23 | 2.8% |
| 23. その他 | 10 | 2.3% | 30 | 3.7% |
| 24. まだ決まっていない | 24 | 5.5% | 56 | 6.9% |
| 無回答 | 2 | 0.5% | 22 | 2.7% |

2 結婚について

(1) 結婚の希望

- 結婚を希望する割合は、市民アンケート、大学生アンケート共に約6割を占め、多くの回答者が結婚を希望していることが分かる。
- 一方、「結婚するつもりはない」と回答した理由としては、市民では「結婚したい相手がないから」、「出会う機会、きっかけがないから」と結婚の相手を理由とするものがそれぞれ3割と、「仕事や趣味、学業など、自分のやりたいことに打ち込みたいから」という理由が約3割を占めている。
- また、大学生アンケートで「結婚するつもりはない」とした理由として一番割合が高かったのは、「精神的に自由でいられるから」が5割を超え、「結婚する意味を見出せないから」、「経済的に自由でいられるから」、「結婚したい相手がないから」も高い割合を占めている。
- 結婚を支援するために期待することは、市民、大学生アンケート共に「安定した収入」のほか、「結婚に対する経済支援」、「職場環境の整備」が高く、結婚後に安心して生活し、子育てができる環境を求めていることが分かる。

【表 2-1 今後の結婚に関する希望をお聞かせください。】

| | 市民(n=314) | | 大学生(n=436) | |
|------------------------|-----------|-------|------------|-------|
| 1. できるだけ早く結婚したい(するつもり) | 37 | 11.8% | 255 | 58.5% |
| 2. 2~3年以内に結婚したい(するつもり) | 33 | 10.5% | | |
| 3. いずれは結婚したい(するつもり) | 132 | 42.0% | | |
| 4. 結婚するつもりはない | 46 | 14.6% | 32 | 7.3% |
| 5. 今はどちらともいえない(わからない) | 66 | 21.0% | 149 | 34.2% |
| 無回答 | 0 | 0.0% | | |

※市民と大学生で設問内容が異なる。1~5は市民、1・4・5は大学生に対する設問。

【表 2-2 結婚していない(するつもりはない)理由をお聞かせください。】

(複数回答：3つまで選択)

| | 市民(n=314) | | 大学生(n=32) | |
|----------------------------------|-----------|-------|-----------|-------|
| 1. 経済的に自由がきくから | 45 | 14.3% | 12 | 37.5% |
| 2. 精神的に自由でいられるから | 58 | 18.5% | 18 | 56.3% |
| 3. 仕事や趣味、学業など、自分のやりたいことに打ち込みたいから | 99 | 31.5% | 12 | 37.5% |
| 4. 結婚にはまだ早いと思うから | 61 | 19.4% | 4 | 12.5% |
| 5. 親や周囲の同意を得られないから | 5 | 1.6% | 0 | 0.0% |
| 6. 結婚資金が足りないから | 59 | 18.8% | 0 | 0.0% |
| 7. 結婚後の生活に経済的な不安があるから | 69 | 22.0% | 5 | 15.6% |
| 8. 結婚したい相手がないから | 113 | 36.0% | 12 | 37.5% |
| 9. 出会う機会、きっかけがないから | 106 | 33.8% | 6 | 18.8% |
| 10. 結婚する意味を見出せないから | 35 | 11.1% | 15 | 46.9% |
| 11. その他 | 21 | 6.7% | 3 | 9.4% |
| 12. 特に理由はない | 20 | 6.4% | 2 | 6.3% |
| 無回答 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |

【表 2-3 結婚を支援するために期待する取組はありますか。】

(複数回答：3つまで選択)

| | 市民 (n=545) | | 大学生 (n=436) | |
|---------------------------------------|------------|-------|-------------|-------|
| 1. 若い世代への結婚に関する意識啓発の充実 | 37 | 6.8% | 56 | 12.8% |
| 2. 結婚を推奨するような全市的な運動 (PR) の実施 | 26 | 4.8% | 25 | 5.7% |
| 3. 婚活イベントなどによる出会いの機会づくりの充実 | 70 | 12.8% | 56 | 12.8% |
| 4. 結婚の相談やマッチング体制の充実 | 40 | 7.3% | 35 | 8.0% |
| 5. 交際術やマナーなどを学ぶ講座の充実 | 11 | 2.0% | 17 | 3.9% |
| 6. 結婚祝い金や結婚に係る費用補助など、結婚に対する経済支援 | 238 | 43.7% | 205 | 47.0% |
| 7. 新婚家庭への住まいの支援 | 160 | 29.4% | 144 | 33.0% |
| 8. 安定した収入を確保できるよう、雇用や経済活動の環境整備 | 308 | 56.5% | 190 | 43.6% |
| 9. 労働時間短縮などのワークライフバランスの推進 | 151 | 27.7% | 118 | 27.1% |
| 10. 子育てしやすい職場環境の整備 | 257 | 47.2% | 199 | 45.6% |
| 11. 男性の家事・育児への参加を促す取組や啓発 | 74 | 13.6% | 29 | 6.7% |
| 12. 小学校から高校までの学校教育を通じた結婚や子育てに関する意義の啓発 | 48 | 8.8% | 21 | 4.8% |
| 13. 行政がやらなくてもいいと思う (やる必要はない) | 22 | 4.0% | 18 | 4.1% |
| 14. その他 | 13 | 2.4% | 4 | 0.9% |
| 無回答 | 9 | 1.7% | 2 | 0.5% |

3 出産・子育てについて

(1) 子どもの希望

- 市民の約7割、大学生の約6割が「子どもが欲しい、欲しかった」と回答しており、子どもを希望する若者が多いことが分かる。一方、大学生の3割が子どもを希望するかも「分からない」と回答している。
- 市民、大学生アンケート共に理想的な子どもの人数は2人が一番多くなっている。
- 子どもが欲しくない理由としては、「子どもの責任をとるなど親になる自信がないから」がいずれのアンケートでも最も多く選択され、大学生では「子どもが苦手だから」が約2割、市民では「経済的な負担が大きいから」の割合が大きくなっている。
- 子どもを産み育てるために市に期待する取組 (妊娠・出産の不安を解消する支援) としては、市民、大学生共に「妊娠・出産に対する支援」が7割を超えている。
- 子どもを産み育てるために市に期待する取組 (子育てを応援する支援) としては、「義務教育課程の経済的負担軽減」が市民、大学生共に高い割合となり、そのほか「就業前の保育・教育施設の定員確保」、「高校・大学の奨学事業の充実」と教育に関わる経済的支援や待機児童解消に期待されていることが分かる。

【表 3-1 あなたは、子どもが欲しいと考えていますか。また、欲しいと考えていましたか。】

| | 市民 (n=545) | | 大学生 (n=436) | |
|------------------|------------|-------|-------------|-------|
| 1. 子どもが欲しい、欲しかった | 376 | 69.0% | 260 | 59.6% |
| 2. 子どもが欲しくない | 41 | 7.5% | 35 | 8.0% |
| 3. 分からない | 110 | 20.2% | 140 | 32.1% |
| 4. 答えたくない | 11 | 2.0% | | |
| 無回答 | 7 | 1.3% | 1 | 0.2% |

※市民と大学生で設問内容が異なる。1～4は市民、1～3は大学生に対する設問。

【表 3-2 あなたにとって、理想的な子どもの人数は何人ですか。また、何人でしたか。】

| | 市民 (n=376) | 大学生 (n=260) |
|---------|------------|-------------|
| 1. 1人 | 12 3.2% | 10 3.8% |
| 2. 2人 | 225 59.8% | 187 71.9% |
| 3. 3人 | 118 31.4% | 59 22.7% |
| 4. 4人 | 13 3.5% | 1 0.4% |
| 5. 5人以上 | 6 1.6% | 2 0.8% |
| 無回答 | 2 0.5% | 1 0.4% |

【表 3-3 子どもが欲しくない理由は何ですか。】

| | 市民 (n=41) | 大学生 (n=35) |
|---------------------------|-----------|------------|
| 1. 経済的な負担が大きいから | 10 24.4% | 4 11.4% |
| 2. 子どもが苦手だから | 8 19.5% | 7 20.0% |
| 3. パートナーとの2人の時間を大切にしたいから | 1 2.4% | 1 2.9% |
| 4. 体力的・精神的に子育てをする自信がないから | 4 9.8% | 5 14.3% |
| 5. 子どもの責任をとるなど親になる自信がないから | 12 29.3% | 8 22.9% |
| 6. 子ども中心の生活が想像できないから | 0 0.0% | 1 2.9% |
| 7. 一人の時間が欲しいから | 3 7.3% | 4 11.4% |
| 8. 仕事に専念したいから | 0 0.0% | 0 0.0% |
| 9. その他 | 2 4.9% | 3 8.6% |
| 10. 特に理由はない | 1 2.4% | 1 2.9% |
| 無回答 | 0 0.0% | 1 2.9% |

【表 3-4 理想的な人数の子どもを産み育てるために行政に期待することは何ですか。
妊娠・出産の不安を解消する支援】 (複数回答：2つまで選択)

| | 市民 (n=545) | 大学生 (n=436) |
|-------------------|------------|-------------|
| 1. 妊娠・出産に関する情報の提供 | 88 16.1% | 81 18.6% |
| 2. 母子に関する医療体制の充実 | 240 44.0% | 237 54.4% |
| 3. 妊娠・出産に対する支援の充実 | 409 75.0% | 325 74.5% |
| 4. 不妊治療に対する支援の充実 | 104 19.1% | 43 9.9% |
| 5. その他 | 29 5.3% | 5 1.1% |
| 6. 特にない | 45 8.3% | 23 5.3% |
| 無回答 | 7 1.3% | 2 0.5% |

【表 3-5 理想的な人数の子どもを産み育てるために行政に期待することは何ですか。
子育てを応援する支援】 (複数回答：2つまで選択)

| カテゴリー名 | 市民 (n=545) | 大学生 (n=436) |
|---|------------|-------------|
| 1. 幼稚園・保育所・認定こども園など、就業前の保育・教育施設の定員の確保 | 138 25.3% | 166 38.1% |
| 2. 就学前の多様な保育サービスの充実 (一時預かり、休日、病児保育など) | 112 20.6% | 93 21.3% |
| 3. 放課後に小学生を預かるサービス (学童保育など) の充実 | 41 7.5% | 36 8.3% |
| 4. 子育てに関する様々な講座、イベント、講演会の充実 | 11 2.0% | 8 1.8% |
| 5. スポーツ体験、芸術体験、社会体験などの子どもに対する多様な体験機会の提供 | 29 5.3% | 42 9.6% |
| 6. 義務教育課程の経済的負担軽減 | 203 37.2% | 172 39.4% |
| 7. 高校・大学課程の授業料助成などの奨学事業の充実 | 155 28.4% | 163 37.4% |
| 8. パートナーの育児への協力を呼びかける運動の実施 | 19 3.5% | 8 1.8% |
| 9. 子育てと仕事の両立ができる意識の醸成 | 94 17.2% | 41 9.4% |
| 10. 子どもが安全に遊べる場所の確保 | 81 14.9% | 41 9.4% |
| 11. 住居費に対する支援 | 91 16.7% | 30 6.9% |
| 12. その他 | 12 2.2% | 7 1.6% |
| 13. 特にない | 27 5.0% | 14 3.2% |
| 無回答 | 10 1.8% | 4 0.9% |

4 将来の働き方・暮らし方について

(1) 卒業後の進路と希望する進路の場所

- 卒業後に「進学」を希望する割合は、大学生が約4割、高校生は約7割を占め、「就職」を希望する大学生は約6割を占める。
- 大学生、高校生ともに約8割が「市外」に進路を希望している。
- また、市外へ進路を希望した学生のうち、希望する就職先が米沢市にあれば将来「米沢市で暮らす」ことを望む大学生、高校生が約2割に対し、大学生の約5割、高校生の約3割が希望する就職先が米沢市内にあってもなお「市外に出たい」としている。

【表 4-1 卒業後の進路】

| | 大学生 (n=436) | | 高校生 (n=816) | |
|-----------------------------------|-------------|-------|-------------|-------|
| 1. 進学する | 163 | 37.4% | 584 | 71.6% |
| 2. 就職する (正規雇用) | 265 | 60.8% | 216 | 26.5% |
| 3. 契約社員・派遣社員、パート・アルバイトをする (非正規就労) | 0 | 0.0% | 1 | 0.1% |
| 4. 家業を継ぐ | 1 | 0.2% | 1 | 0.1% |
| 5. 起業・創業する | 0 | 0.0% | 2 | 0.2% |
| 6. 進学も就職もしない | 0 | 0.0% | 1 | 0.1% |
| 7. わからない | 5 | 1.1% | 5 | 0.6% |
| 無回答 | 2 | 0.5% | 6 | 0.7% |

【表 4-2 卒業後の進路の場所】

| | 大学生 (n=436) | | 高校生 (n=816) | |
|---------------------------|-------------|-------|-------------|-------|
| 1. 米沢市 | 74 | 17.0% | 115 | 14.1% |
| 2. 山形県内 (米沢市以外) | 28 | 6.4% | 168 | 20.6% |
| 3. 東北地方 (山形県以外) | 74 | 17.0% | 221 | 27.1% |
| 4. 東京圏 (東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県) | 155 | 35.6% | 207 | 25.4% |
| 5. 1～4以外の国内 | 97 | 22.2% | 92 | 11.3% |
| 6. 国外 | 5 | 1.1% | 7 | 0.9% |
| 無回答 | 3 | 0.7% | 6 | 0.7% |

【表 4-3 将来希望する就職先が米沢市にあった場合の居住希望 (市外への進路希望者)】

| | 大学生 (n=359) | | 高校生 (n=695) | |
|--------------------|-------------|-------|-------------|-------|
| 1. 米沢市で暮らすと思う | 82 | 22.8% | 178 | 25.6% |
| 2. それでも、米沢市から出ると思う | 200 | 55.7% | 235 | 33.8% |
| 3. わからない | 75 | 20.9% | 245 | 35.3% |
| 無回答 | 2 | 0.6% | 37 | 5.3% |

(2) 仕事・就職先を選択する上で重視すること

- 仕事を選択する上で重視することとしては、大学生は「福利厚生等（休暇や手当）の充実」に対し、高校生は「給与水準の高さ」が1位となっている。
- その他、大学生では「給与水準の高さ」や「希望する業種・職種」が上位になり、高校生では「希望する業種・職種」や「仕事以外の時間の確保」といった項目が上位にある。

【表 4-5 仕事を選択する上で重視すること】 (複数回答：3つまで選択)

| | 大学生 (n=359) | | 高校生 (n=695) | |
|---------------------------------|-------------|-------|-------------|-------|
| 1. 給与水準が高い | 207 | 57.7% | 413 | 59.4% |
| 2. 希望する業種・職種がある | 203 | 56.5% | 355 | 51.1% |
| 3. 自分のキャリア・スキルを活かせる | 91 | 25.3% | 225 | 32.4% |
| 4. 大企業や有名企業（など経営が安定している）である | 75 | 20.9% | 112 | 16.1% |
| 5. 福利厚生等（休暇や手当）が充実している | 232 | 64.6% | 295 | 42.4% |
| 6. 起業や創業がしやすい | 6 | 1.7% | 35 | 5.0% |
| 7. 仕事以外の時間を十分確保できる（残業・休日出勤の少なさ） | 154 | 42.9% | 337 | 48.5% |
| 8. 特になし | 5 | 1.4% | 8 | 1.2% |
| 9. わからない | 2 | 0.6% | 12 | 1.7% |
| 無回答 | 2 | 0.6% | 11 | 1.6% |

(3) 卒業後の定住意向

- 大学や高校等を卒業した後に市外へ進路を希望し、米沢市以外で暮らした場合に、Uターンする考えがあるかどうかを質問したところ、大学生の7割、高校生の約3割が「帰らない」と回答した。
- 一方で、高校生は「わからない」が約半数を占めた。

【表 4-6 市外進路を選択した後、米沢市にUターンするか】 (単位：人、%)

| | 大学生 (n=359) | | 高校生 (n=695) | |
|--------------|-------------|-------|-------------|-------|
| 1. 帰る、帰ってきたい | 15 | 4.2% | 124 | 17.8% |
| 2. 帰らない | 264 | 73.5% | 191 | 27.5% |
| 3. わからない | 78 | 21.7% | 370 | 53.2% |
| 無回答 | 2 | 0.6% | 10 | 1.4% |

5 将来のUターン、米沢市との関わりについて

(1) 転出した理由、本市に対する印象の変化、本市と転出先の比較

- 転出後に、本市に対する印象が良くなった方が約4割おり、さらには本市への愛着を持つ転出者は約6割と高い割合を占めている。
- 娯楽環境や市内移動の利便性については、転出先の方が良いという回答がそれぞれ半数以上を占めている。一方で、治安や自然環境は米沢市のほうが良いという回答が多かった。
- 本市へのUターン希望については、「戻るつもりはない」と回答した方が約5割いるが、本市への愛着がある方が6割と多いことから、転出者が引き続き本市に関わっていただける関係人口になりえるものとする。
- 本市へのUターンを希望している世代については、30歳代が多く、年齢にこだわらない方や20歳代の方が多かった。その中で、Uターンする場合に本市に期待するサポートは、就職への支援が5割と多く、次いで住環境や子育て支援へのサポートが本市に求められていることとする。

【表 5-1 市外で暮らしてみて、米沢市に対する印象が変わりましたか。】

| | 転出者 (n=355) | |
|----------|-------------|-------|
| 1. 良くなった | 131 | 36.9% |
| 2. 変わらない | 187 | 52.7% |
| 3. 悪くなった | 33 | 9.3% |
| 無回答 | 4 | 1.1% |

【表 5-2 米沢市への愛着はありますか。】

| | 転出者 (n=355) | |
|----------|-------------|-------|
| 1. ある | 235 | 66.2% |
| 2. ない | 73 | 20.6% |
| 3. わからない | 45 | 12.7% |
| 無回答 | 2 | 0.6% |

【表 5-3 環境比較 治安】

| | 転出者 (n=355) | |
|--------------------|-------------|-------|
| 1. 米沢市のほうが良い | 171 | 48.2% |
| 2. 現在住んでいる地域のほうが良い | 53 | 14.9% |
| 3. どちらともいえない | 126 | 35.5% |
| 無回答 | 5 | 1.4% |

【表 5-4 環境比較 自然環境】

| | 転出者 (n=355) | |
|--------------------|-------------|-------|
| 1. 米沢市のほうが良い | 176 | 49.6% |
| 2. 現在住んでいる地域のほうが良い | 83 | 23.4% |
| 3. どちらともいえない | 92 | 25.9% |
| 無回答 | 4 | 1.1% |

【表 5-5 環境比較 娯楽環境】

| | 転出者 (n=355) | |
|--------------------|-------------|-------|
| 1. 米沢市のほうが良い | 63 | 17.7% |
| 2. 現在住んでいる地域のほうが良い | 250 | 70.4% |
| 3. どちらともいえない | 41 | 11.5% |
| 無回答 | 1 | 0.3% |

【表 5-6 環境比較 市内移動の利便性】

| | 転出者 (n=355) | |
|--------------------|-------------|-------|
| 1. 米沢市のほうが良い | 77 | 21.7% |
| 2. 現在住んでいる地域のほうが良い | 210 | 59.2% |
| 3. どちらともいえない | 66 | 18.6% |
| 無回答 | 2 | 0.6% |

【表 5-7 あなたは、将来を含めて、米沢市へのUターンを考えていますか。】

| | 転出者 (n=355) | |
|---------------|-------------|-------|
| 1. 戻りたいと考えている | 42 | 11.8% |
| 2. 戻るつもりはない | 173 | 48.7% |
| 3. わからない | 135 | 38.0% |
| 無回答 | 5 | 1.4% |

【表 5-8 Uターンするなら、何歳ぐらいを考えますか。(Uターン希望者のみ)】

| | 転出者 (n=42) | |
|---------------|------------|-------|
| 1. 20歳代 | 9 | 21.4% |
| 2. 30歳代 | 15 | 35.7% |
| 3. 40歳代 | 7 | 16.7% |
| 4. 50歳代 | 0 | 0.0% |
| 5. 60歳代 | 1 | 2.4% |
| 6. 年齢にはこだわらない | 10 | 23.8% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |

【表 5-9 米沢市へのUターンを検討する場合、どのようなサポートを米沢市に期待しますか。

(Uターン希望者のみ)】

(複数回答：3つまで選択)

| | 転出者 (n=42) | |
|-------------------------|------------|-------|
| 1. 就職への支援 | 21 | 50.0% |
| 2. 起業・創業への支援 | 7 | 16.7% |
| 3. 就農等の支援 | 3 | 7.1% |
| 4. 子育て支援 | 14 | 33.3% |
| 5. Uターン相談窓口の開設・拡充 | 5 | 11.9% |
| 6. Uターンの説明会・セミナーの開催 | 4 | 9.5% |
| 7. Uターン者の経験談の提供 | 1 | 2.4% |
| 8. Uターン前の短期滞在に関する支援 | 2 | 4.8% |
| 9. 住環境（引っ越しサポート等）に関する支援 | 16 | 38.1% |
| 10. 住宅の取得等に係る経済的な支援 | 12 | 28.6% |
| 11. 地域に馴染むための機会や支援 | 2 | 4.8% |
| 12. その他 | 1 | 2.4% |
| 13. わからない | 1 | 2.4% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |